

3 中学校区・6校での授業公開

大会1日目は、市内3つの中学校区にある6つの小中学校を会場として、全国の教育関係者に向けた公開授業と研究発表が行われます。

- 鏡野中校区：山田小学校、楠目小学校、鏡野中学校
- 香北中校区：大宮小学校、香北中学校
- 大栃中校区：大栃中学校（大栃小学校と合同公開）

今回の全国大会での授業公開に向けて、各校には信州大学や関西大学などの専門家が「伴走講師」としてつき、直接的な支援を行っています。講師の先生方はオンラインでのチャットなどを活用し、日常的に先生方と相談や打ち合わせを重ね、授業の質を磨き上げてきました。デジタル学習基盤を最大限に活かし、子どもたちが自ら問いを立てて探究を深める新しい授業の実践を、香美市から全国の教育現場へ発信していきます。



タブレット端末を囲み、クラウド上で意見を共有しながら活発に議論する子どもたちのようす。



アドバイザーによる授業視察のようす。

第52回 全日本教育工学 研究協議会全国大会 (JAET全国大会)



JAET全国大会とは・・・

全国の教育関係者が一堂に会し、ICTを活用した授業実践や最新の教育工学に関する研究成果を発表・共有する、国内最大規模の教育イベントです。

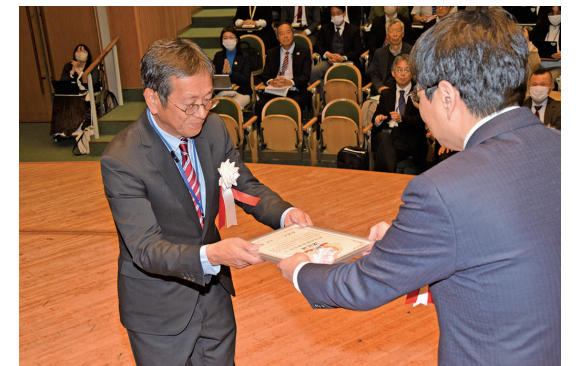
香美市での全国大会開催と 「先進地域」からの情報発信



本大会の特設サイトはこちら

香美市の学びが今、日本の教育の最前線として注目されています。10月30日(金)・31日(土)の2日間に香美市で、**第52回 JAET全国大会(高知・香美市大会)**が開催されます。本大会のテーマは「教育DXで進化する探究の学び～地域とともにつくる未来の学校～」です。

香美市では、ICT環境の整備と授業改善を加速させるため、令和5年から有識者によるアドバイザーボード(助言や意見を求めるための外部機関)を設け、組織的な取組を開始しました。その成果が認められ、今年2月のプレ大会では、日本教育工学協会(JAET)から**学校情報化先進地域**の認定証を授与されました。アドバイザーとして開始当初から香美市を見守ってきた山西潤一先生は、「3年前、最初に各校を訪問した際の先生方の意欲に驚きましたが、今や子どもたちのスキルも飛躍的に向上し、劇的な変化を遂げました。ここには日本の未来を作る教育のモデルがある」と、香美市の挑戦を高く評価しています。



▲プレ大会での「学校情報化先進地域認定証」授与式のようす

令和5年から積み上げてきた香美市の教育DXの歩みが、全国レベルで認められました。